

会議名称	北本市高齢者福祉計画2015・第6期介護保険事業計画 第3回策定委員会
開会及び閉会日時	平成26年11月26日 13時30分～14時45分
開催場所	文化センター 第5会議室
議長氏名	中村 聡明
出席委員(者)氏名	中村 聡明、岡野 浩、高橋 ひろ子、富家 俊男、堀越 一三、古山 昌男、中村 加奈子、竹並 麗、林 泰子、柴田 仁美、服部 百合子、川村 洋二
欠席委員(者)氏名	清水 敏昭、中島 猛、鈴木 史枝、遠井 美智子
説明者の職氏名	平井高齢介護課長
事務局職員職氏名	平井高齢介護課長、平山高齢介護課主幹、八巻高齢介護課主幹、三橋高齢介護課主任、沼上高齢介護課主任、山崎高齢介護課主事
会議次第	<ol style="list-style-type: none"> 1. 開会 2. あいさつ 3. 議事 <ol style="list-style-type: none"> (1) 計画の策定について <ul style="list-style-type: none"> ・高齢者福祉計画2015・第6期介護保険事業計画（案）について ・生活支援サービスの充実について ・その他 (2) その他 4. 閉会
配布資料	<p>式次第</p> <p>資料：修正一覧</p> <p>資料：生活支援・介護予防サービスの充実</p> <p>資料：高齢者福祉計画2015・第6期介護保険事業計画（素案）</p>

会 議 記 録 (2)

発言者	発言内容・決定事項
高齢介護課長	(開会) ただいまより、北本市高齢者福祉計画2015・第6期介護保険事業計画策定委員会を開催いたします。
議長	(あいさつ) 今回もそれぞれの立場から色々な意見をいただき、この会が実りのあるものになればと思います。よろしくお願いいたします。
高齢介護課長	(出席者・資料確認) 16名の委員の内、本日12名の委員に出席いただいております。会議の公開の募集を行いました、特にありませんでしたのでご報告いたします。
川村委員	(議事1) 計画の策定について(高齢者福祉計画2015・第6期介護保険事業計画(案)について) 資料をもとに事務局(高齢介護課長)より説明を行う。 3ページ、第1節の3番目に高齢者施策の3行目に「高度急性期」とあるがどういう意味か。
高齢介護課長	医療用語で、高齢者の方が、病気になり入院や治療が必要な時期を指します。注記をつける等対応します。
堀越委員	訂正個所の主な箇所だけでも説明していただきたい。
高齢介護課長	資料(修正一覧、高齢者福祉計画2015・第6期介護保険事業計画(素案))をもとに説明を行う。
岡野委員	66ページの「日常生活圏域別要支援・要介護認定者の状況」のデータが古いと思う。今年の9月も追加した方が良いと思う。
高齢介護課長	26年の9月も追記させていただきます。
議長	他にもデータがありますが、それは最新データということでよろしいでしょうか。
高齢介護課長	基本は最新データです。
竹並委員	地域包括ケア委員会を医師会で立ち上げていく。地域包括医療や介護の一部は医師会でも力を入れていくが、盛りだくさんのこの内容を誰が主体となってどういう風に進めていくのか。
高齢介護課介護担当主幹	39ページの在宅医療・介護連携の推進について、国は3年以内に全てを実施するようと言っています。北本市としては、来年から早速取り組んでいきたいと思っています。ただ、一度に全てはできないので、できるところから始めていきます。医師会のお力がないとできないところがございますので、医師会と調整をしていきたいと思っています。来年は、市で実施できることを進めていきます。

発言者	発言内容・決定事項
竹並委員	同時進行で進めていかないと出来上がらないと思います。
高齢介護課介護担当主幹	お声掛けをして行っていきたいと考えております。
高齢介護課長	まず、資源の把握を行って、徐々に事業を広げていきたいと思います。
議長	順次進めていくということですね。1「地域医療・介護サービス資源の把握」から進めていくということですね。
高齢介護課介護担当主幹	1「地域医療・介護サービス資源の把握」、2「在宅医療・介護連携の課題の抽出と対応の協議」を検討しています。
竹並委員	生活支援コーディネーターは、どのように養成していくのですか。
高齢介護課長	まず協議体を立ち上げて、その中で人材を見つけていきたいと考えています。
古山委員	31ページにあるボランティア、老人クラブの活動状況について、教えてくださいませんか。
高齢介護課長	国のボランティアの考え方としては、新しい事業の中で、NPO等の協力を得てやりなさいとなっています。医療職、介護職だけでは間に合わないということで、できるだけ協力していかないと乗り切れないという状況です。
古山委員	団体がどんな感じで活動しているのか、実態を把握されていたら教えていただきたいです。
高齢介護課長	北本市ボランティア連絡会に加入している団体は、17グループです。老人クラブについては、41ございます。無いところもあるので、もっと増やすように働きかけていきたいと思っております。
堀越委員	老人クラブ連合会に入っているのは、39です。あと2クラブありますが、補助金は出ていますね。一時期は32まで減りました。毎年お願いはしていますが、なかなか入ってくれないのが現状です。自治会は111。老人クラブが無い方が多いですね。一応60歳から入れます。本当は65歳くらいの方が入ってくると良いですが、平均すれば75、6歳だと思います。
高齢介護課長	新しく参入してくるところもあると思うので、そういったところも把握していきたいと考えています。
議長	活動実態がどうなっているのかについては、公表していただければと思います。
竹並委員	民生委員等に負担が掛かっていると思います。そういう人たちだけに背負わせるのはやめた方が良いでしょう。あとは、若い人を増やすために、市がどう考えていくかが大事だと思う。空き家の活用もあると思うし、魅力的なまちにしていく必要があると思います。
高齢介護課長	特に若い方のボランティアの育成もしていかないといけないと思うので、他の課とも調整をしていきたい。

発言者	発言内容・決定事項
高齢介護課介護担当主幹	働き手は平成22年を100として、平成37年で埼玉県は89、北本市は79.3という推計が出ています。介護人材を集めるのは、ますます大変になってきます。専門的な方には身体介護、生活援助はNPOやボランティアなどをお願いをしていく方向で考えています。
岡野委員	その推計は人口分布による判断ですか。
高齢介護課介護担当主幹	国立社会保障・人口問題研究所の発表による統計データです。75歳以上の人口については、平成22年度を100とすると、埼玉県は203です。北本市は225という数値が出ています。
古山委員	67ページにある「福祉・保険サービス等の地域資源（施設等）」の表は、どういう主旨で作成しているのか。何がどこにあるのか分かりづらい。種類ごとにわかりやすくするとか、また電話番号が入っていれば、活用しやすいですよ。今後の利用も考えてのという提案です。
高齢介護課長	検討させていただきます。地域資源の一覧として掲載しております。本来は、ボランティア団体等も入ってくるのですが。
竹並委員	地域リハビリテーション支援体制の整備事業で、老人保健施設カントリーハーベストも協力機関となっておりますが、せっかく、県からの委託をいただいても、北本市の地域包括支援センターが動かないと私どもも動けないという状況がある。市は取り組んでくれるのですか。
高齢介護課高齢者福祉担当主幹	できるだけ市町村で活用をということで、研修会や市の後方支援を担っていただけるということなので、地域リハビリテーション事業も計画の中に入れていきたいと思っている。かなり広域を担当しているということで、できれば、近隣の医療機関等に協力を呼び掛けているということです。
川村委員	ボランティアの推進とありましたが、実際はとてもボランティアではなくて、赤紙が来たなという認識がほとんどで、後継者を選ぶときには苦勞しているもの。既存の17グループは良いとしても、育てていくのは大変だと思うので、そういう立場で検討して欲しいと思います。
議長	人材確保が大切だと思うので、ボランティアとしてやってみたいという方向性となるように進めてください。
高齢介護課介護担当主幹	43ページの参考で示した資料「介護予防・日常生活支援総合事業（新しい総合事業）の構成」にあるとおり、新しい総合事業の住民主体による支援というところで、ボランティア等に頑張っていただきたいというところ。住民の方たちに訪問型サービスB等でお力をお借りしたいと思っています。
林委員	ケアマネジャーをしています。介護予防・生活支援サービス事業のサービスをサービス計画書の中に設定をすると「時間が空いたから、ちょっと話を聞きに行きます」ではなくて、時間設定の中でやっていかななくてはならないため、ボランティアにもその認識をしっかりと持たないと、介護保険では困ることになると思う。
議長	ボランティアを養成するようなシステムは今あるのでしょうか。
高齢介護課長	社会福祉協議会以外にはないですね。

発言者	発言内容・決定事項
議長	それを指導し、育成する形にならないといけないですね。
竹並委員	生活支援コーディネーターをボランティアの中で作っていく形ではないのでしょうか。
高齢介護課長	生活支援コーディネーターは、各団体の連携に対する支援ですので、協議体の中で、自分の担当地域で足りないものがあれば、こういう風なものを作った方が良いでしょうという形で進めていくということです。
竹並委員	それぐらいのレベルの人でないと難しいということですね。
議長	その他、何かご意見ありますでしょうか。特にありませんか。
高齢介護課介護担当主幹	そうしましたら、55ページの施設の整備について。特別養護老人ホームの入所希望者が減っているという部分と、今後、要介護度が原則3以上に絞り込んでいくということで、第6期中は整備をしないという提案です。グループホームも空きがある状況です。有料老人ホームも同様です。このようなことから、この3年間は施設系の整備はしないと考えております。
古山委員	よろしいかと思えます。全国的には待機者がいると報道されていますが、北本市はベッド数が多いものですから、そんなに待機者がいない状況です。程度の問題はありますが、都内では数年待ちとは聞きますが、そういう状況ではありません。実態としては、そんなに待たずに入居できる状況ですので、よろしいかと思えます。
川村委員	これは、公立の施設ということですか。
高齢介護課長	いえ、介護保険施設を含みます。サービス付き高齢者向け住宅については、登録制で、市内でも2箇所ありますが、今もう1箇所造っています。介護付き有料老人ホームもできています。住所地特例の対象になりまして、前に住んでいた市町村が保険者となりますが、高齢者人口が増えるという問題もございます。
議長	住所は北本市ではなくて、経営主体もお金のある企業がやっていて、医師も離れたところに居てということなので、資源としては見ていないということですね。
高齢介護課長	45ページで示してる介護付き有料老人ホームにつきましては、現在、建設中のところが、緑2丁目と東間4丁目に2つございます。まだ増えるかもしれません。
竹並委員	市内の一軒家で暮らせなくなって住む人には良いとは思いますが。
高齢介護課長	市内の戸建ての団地では、高齢者のご夫婦が多く住んでいる状況があります。この点も考慮しないといけないと思っています。コンパクトシティ構想としては、駅の近くに住宅と商業施設を造っていくという話がありますから、今後は、郊外ではなく駅に近いところに造ってもらうのが良いかと思えます。
竹並委員 古山委員	団地の空き家には、若い人に入ってもらいたいですね。 先程申し上げたのは、介護老人福祉施設についての利用状況等についてを申し上げたところです。他の施設の利用状況等については感知しておりません。

発言者	発言内容・決定事項
高齢介護課長	<p>本日、ご発言以外のございましたら、後程ご意見いただければと思います。修正をしまして、12月下旬から1月にかけてパブリックコメントにかける予定です。</p>
	<p>(議事2) 生活支援サービスの充実について 資料をもとに事務局(高齢介護課長)より説明を行う。</p>
竹並委員	<p>コーディネーターは、資格になるのでしょうか。</p>
高齢介護課長	<p>資格になりますが、国はこれから養成の研修を行っていくことになるので、まず、協議体で意見を聞きなさいと言われていています。各団体の中で動ける方を想定しています。</p>
議長	<p>最終的には研修を受けて、市が認定する資格ということでしょうか。</p>
高齢介護課長	<p>そういうことになります。</p>
林委員	<p>地域包括支援センターにはケアマネジャーがいる訳なので、どういう位置づけになるのか、よく分からない。資格を持つことで、どういう連携になるのか。</p>
高齢介護課長	<p>来年早々、協議体を立ち上げて、検討していきたいと思います。</p>
議長	<p>全体を通じて意見はありますか。</p>
竹並委員	<p>個人的に在宅療養研究会をやって10回目を迎えているが、今度12月3日に成年後見人制度の話をする案内しましたら、意外と申し込みをいただいている状況です。市でも、ぜひ多くの方と顔を合わせてお話をする機会を定期的に設けていただきたいです。</p>
高齢介護課長	<p>機会については検討していきたいと思います。</p>
高齢介護課介護担当主幹	<p>市が主体的にやっていきたいと思います。</p>
竹並委員	<p>たくさんの人に集まっていたきたいと思います。</p>
高齢介護課長	<p>64ページにある地域支援事業ですが、国からは、こういったことが示されています。来年度から、徐々に進めていく予定ですが、新しい介護予防・日常生活支援総合事業については、準備に時間を要する事業となります。こちらは平成29年度からの実施を目指していきたいと思っております。</p>
高齢介護課長	<p>(議事3) その他 今後、修正を行いまして、パブリックコメント後にお集まりいただき、最終のご審議をいただきたいと思っておりますので、よろしくお願い致します。他にご意見がありましたら、事務局に一報をお願い致します。</p>

発言者	発言内容・決定事項
<p>議事の内容・概要を記載し、その相違なきを証するためここに署名する。</p> <p>27年2月5日 委員長(会長)</p> <p>中村聡明</p>	

